2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月6日

上場会社名　IDEC株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6652　URL http://jp.idec.com/
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 舩木 俊之
問合せ先責任者　(役職名) グローバルファイナンス本部長　(氏名) 小川 泰幸　TEL 06-6398-2500

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年11月30日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（ アナリスト向け ）

(百万円未満切捨て)

1.2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	43,269	26.8	6,200	137.4	6,177	112.3	7,251	313.1
2026年3月期中間期	34,111	3.1	2,611	68.4	2,909	98.8	1,755	37.0

(注)包括利益　2027年3月期中間期　6,249百万円(　48.9%)　2026年3月期中間期　4,196百万円(　-%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	244.84	243.81
2026年3月期中間期	59.48	59.46

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	114,273	74,575	64.9
2026年3月期	113,572	69,920	61.0

(参考)自己資本　2027年3月期中間期　74,126百万円　2026年3月期　69,313百万円

2.配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	65.00	-	65.00	130.00
2027年3月期	-	65.00			
2027年3月期(予想)			-	65.00	130.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3.2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	16.5	9,400	53.6	8,950	36.2	8,600	122.0	290.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　−社（社名）−　、除外　−社（社名）−

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	31,374,485株	2026年3月期	31,374,485株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,695,736株	2026年3月期	1,826,512株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年3月期中間期	29,618,261株	2026年3月期中間期	29,510,527株

※　第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 11
（セグメント情報等の注記） …… 12
３．補足情報 …… 13
（１）連結業績概要 …… 13
（２）製品別売上高 …… 13
（３）仕向地別売上高 …… 14
（４）受注実績 …… 15
（５）キャッシュ・フローの状況 …… 15
（６）設備投資額 …… 15
（７）減価償却費 …… 15
（８）研究開発費 …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇やサプライチェーンへの影響懸念などを背景に、先行き不透明な状況が続きました。一方で、AIやデジタル関連分野を中心とした設備投資の拡大が景気を支え、地域によってばらつきはあるものの、総じて底堅く推移いたしました。特に米州ではAI関連投資を背景に制御機器需要が堅調に推移し、安定した雇用情勢や底堅い個人消費に支えられ、景気は堅調に推移いたしました。日本においては、円安の進行や資源価格の上昇に伴う物価高が懸念されるものの、雇用・所得環境の改善や半導体・電子部品関連を中心とする設備投資の増加が景気を支える一因となりました。中国ではハイテク分野の設備投資や輸出の拡大が経済を下支えしたものの業種間で需要動向に差がみられ、欧州では景気に持ち直しの動きがみられましたが、設備投資はなお慎重な状況が続きました。

当社グループにおいては、当連結会計年度を2年目とする中期経営計画において、新生IDECとして「顧客中心のビジネス構造への転換」、「グローバルベースでの市場変化への対応力向上」を掲げており、グループ一丸となって持続的な成長を実現するための構造改革を推進しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上高は432億6千9百万円(前年同期比26.8%増)となりました。また、営業利益は35億8千8百万円増益の62億円(前年同期比137.4%増)、経常利益は32億6千7百万円増益の61億7千7百万円(前年同期比112.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は54億9千6百万円増益の72億5千1百万円(前年同期比313.1%増)となりました。なお、2026年5月14日に公表いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益(固定資産売却益)の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当中間連結会計期間において米国カリフォルニア州に保有していた旧社屋の土地、建物の譲渡に係る固定資産売却益41億8千1百万円を特別利益として計上しております。

以上による当中間連結会計期間における業績結果は以下のとおりであります。

	2026年3月期 中間連結会計期間	2027年3月期 中間連結会計期間	比較増減	増減率
売上高(百万円)	34,111	43,269	+9,158	+26.8%
売上総利益(百万円)	15,228	20,551	+5,323	+35.0%
売上総利益率(%)	44.6	47.5	+2.9	－
営業利益(百万円)	2,611	6,200	+3,588	+137.4%
営業利益率(%)	7.7	14.3	+6.7	－
経常利益(百万円)	2,909	6,177	+3,267	+112.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益(百万円)	1,755	7,251	+5,496	+313.1%

(為替レート)

米ドル平均レート(円)	146.03	159.49	+13.46	－
ユーロ平均レート(円)	168.05	184.42	+16.37	－
人民元平均レート(円)	20.29	23.54	+3.25	－

なお、当中間連結会計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

【日本】

日本においては、半導体やロボット業界の需要の伸長により、前年度末以来、受注先行が継続しており、売上高は前年同期に比べ、27億6千6百万円増収の152億8千6百万円(前年同期比22.1%増)となりました。営業利益は、増販効果に加えて構造改革の効果もあり前年同期に比べ、13億2千万円増益の21億4千7百万円(前年同期比159.8%増)となりました。

【米州】

北米地域では、データセンター及び半導体装置向けの需要が伸長しました。前年度末より受注も先行し、売上高は前年同期に比べ、12億6千4百万円増収の84億5千7百万円(前年同期比17.6%増)となりました。増販効果に加えて値上げ効果も奏功し、営業利益は前年同期に比べ、6億3千8百万円増益の10億8千4百万円(前年同期比143.5%増)となりました。

【欧州、中東及びアフリカ(以下、EMEA)】

欧州市場では、前年度以来、継続した主要産業の需要が落ち込みから徐々に回復基調に転じたことで、売上高は前年同期に比べ、17億5千4百万円増収の89億6千万円(前年同期比24.3%増)となり、営業損失2千9百万円(前年同期は営業損失4億6百万円)となりました。

【アジア・パシフィック】

アジア・パシフィック地域においては、中国における自動車や半導体業界などのスマートファクトリー化によるファクトリーオートメーション需要が堅調に拡大し、売上高は前年同期に比べ、33億7千3百万円増収の105億6千5百万円(前年同期比46.9%増)となり、営業利益は前年同期に比べ、10億7千8百万円増益の26億6千万円(前年同期比68.2%増)となりました。

当中間連結会計期間の製品種類別の売上高は次のとおりであります。

【HMI事業】

ファクトリーオートメーション向け、特に半導体製造装置向け需要が牽引した結果、産業用スイッチの売上が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ、41億8千4百万円増収の202億6千2百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

※HMI(Human Machine Interface:人と機械が触れ合う環境)の核となる、「制御用操作スイッチ」や「ジョイスティック」、「表示灯」、「プログラマブル表示器」などの製品群です。

【インダストリアルコンポーネンツ事業】

主力市場であるアジア・パシフィック、及び北米市場において、制御用リレーの売上が堅調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ、18億1千4百万円増収の80億9千5百万円(前年同期比28.9%増)となりました。

※機械や生産ラインなどを制御・操作するための制御盤の中に組み込み、機械・装置の制御部分の基礎として使用される、「スイッチング電源」や「端子台」、「制御用リレー／ソケット」、「サーキットプロテクタ」などの製品群です。

【オートメーション＆センシング事業】

主力製品であるプログラマブルコントローラにおいて、主要市場である北米の売上が伸長したことに加え、OEM先への出荷も伸長したことから、売上高は前年同期に比べ、7億7千5百万円増収の42億1千7百万円(前年同期比22.5%増)となりました。

※産業現場や暮らしのさまざまなシーンにおける機器の自動化に貢献する各種製品、機械・装置の頭脳の役割をする「プログラマブルコントローラ」や、リテールや物流分野などさまざまな分野で活用されている「自動認識機器」などの製品群です。

【安全・防爆事業】

主力市場である日本、アジア・パシフィックにおいて、特に中国における安全関連機器の売上が堅調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ、25億6千1百万円増収の86億9百万円(前年同期比42.3%増)となりました。

※産業現場の安全を守る「非常停止用押ボタンスイッチ」や「安全スイッチ」、「イネーブル装置」といった「安全関連機器」に加え、石油・化学プラントなど、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「防爆関連機器」などの製品群です。

【システム】

日本、アジア・パシフィックにおいて、半導体製造設備・物流関連設備等の制御盤の売上が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ、1億7千6百万円減収の20億8千4百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

※顧客ニーズに合わせてIDECの製品をシステム化して提供する「各種システム」、安全関連機器・安全技術を組み合わせて最適なシステムを構築する「協働ロボットシステムソリューション」などの製品群です。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末より7億円増加し、1,142億7千3百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が20億3百万円減少したものの、現金及び預金が13億5千万円、棚卸資産が7億9千4百万円、売上債権が5億1千8百万円増加したことなどによるものです。

負債の額は、前連結会計年度末より39億5千4百万円減少し、396億9千7百万円となりました。これは主に、仕入債務が11億6千2百万円、未払法人税等が10億4千1百万円、未払費用が8億4千2百万円増加した一方で、借入金が67億1千7百万円減少したことなどによるものです。

純資産の額は、利益剰余金が53億3千1百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末より46億5千5百万円増加し、745億7千5百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より13億5千2百万円増加し、194億9千4百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、72億8千2百万円の収入(前年同期は22億8千8百万円の収入)となりました。これは主に、固定資産売却益を41億8千7百万円調整した一方で、税金等調整前中間純利益を102億4百万円計上したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、26億2千8百万円の収入(前年同期は19億5千9百万円の支出)となりました。これは主に、固定資産の取得により22億4千3百万円を支出した一方で、固定資産の売却により48億7千4百万円の収入があったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、85億1百万円の支出(前年同期は48億2百万円の支出)となりました。これは主に、借入の返済等により66億7千7百万円、配当金の支払いにより19億1千3百万円を支出したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年10月2日に公表した業績予想から変更ありません。

詳細は、2026年10月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,172	19,523
受取手形、売掛金及び契約資産	12,632	13,198
電子記録債権	476	428
商品及び製品	11,638	11,161
仕掛品	1,884	2,185
原材料及び貯蔵品	6,294	7,265
その他	2,241	2,335
貸倒引当金	△27	△33
流動資産合計	53,312	56,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,133	17,989
機械装置及び運搬具（純額）	2,889	2,856
工具、器具及び備品（純額）	1,623	1,714
土地	7,558	7,265
リース資産（純額）	160	204
使用権資産（純額）	1,518	1,343
建設仮勘定	4,188	425
有形固定資産合計	32,072	31,800
無形固定資産		
商標権	2,401	2,225
顧客関連資産	7,465	6,879
ソフトウエア	1,030	1,050
ソフトウエア仮勘定	2,275	2,238
のれん	11,580	10,720
その他	989	897
無形固定資産合計	25,743	24,012
投資その他の資産		
投資有価証券	727	751
退職給付に係る資産	581	580
繰延税金資産	512	447
その他	645	639
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	2,444	2,395
固定資産合計	60,259	58,207
資産合計	113,572	114,273

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,946	5,127
電子記録債務	268	249
短期借入金	8,300	8,300
１年内返済予定の長期借入金	6,286	5,471
リース債務	535	513
未払金	933	692
未払費用	4,026	4,868
未払法人税等	697	1,739
契約負債	430	435
預り金	89	76
製品保証引当金	45	34
その他	1,507	1,573
流動負債合計	27,065	29,083
固定負債		
長期借入金	11,027	5,124
リース債務	1,215	1,102
繰延税金負債	2,714	2,472
役員退職慰労引当金	31	31
退職給付に係る負債	1,101	1,109
資産除去債務	82	82
その他	413	690
固定負債合計	16,586	10,614
負債合計	43,652	39,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	6,285	6,530
利益剰余金	39,063	44,394
自己株式	△3,356	△3,118
株主資本合計	52,049	57,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	51
為替換算調整勘定	17,001	16,003
退職給付に係る調整累計額	217	207
その他の包括利益累計額合計	17,264	16,262
新株予約権	606	449
純資産合計	69,920	74,575
負債純資産合計	113,572	114,273

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
売上高	34,111	43,269
売上原価	18,882	22,718
売上総利益	15,228	20,551
販売費及び一般管理費	12,617	14,351
営業利益	2,611	6,200
営業外収益		
受取利息及び配当金	219	111
持分法による投資利益	77	71
為替差益	217	－
デリバティブ評価益	156	－
受取賃貸料	66	64
その他	135	49
営業外収益合計	871	297
営業外費用		
支払利息	202	230
デリバティブ損失	227	－
為替差損	－	36
その他	144	52
営業外費用合計	573	320
経常利益	2,909	6,177
特別利益		
固定資産売却益	19	4,187
新株予約権戻入益	121	136
特別利益合計	141	4,324
特別損失		
固定資産売却損	－	0
固定資産廃棄損	0	2
事業構造改革費用	－	294
和解金	292	－
特別損失合計	292	297
税金等調整前中間純利益	2,759	10,204
法人税、住民税及び事業税	1,083	3,066
法人税等調整額	△80	△113
法人税等合計	1,003	2,953
中間純利益	1,755	7,251
親会社株主に帰属する中間純利益	1,755	7,251

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年4月1日 至　2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年4月1日 至　2026年9月30日)
中間純利益	1,755	7,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	6
為替換算調整勘定	2,428	△997
退職給付に係る調整額	△1	△10
その他の包括利益合計	2,441	△1,001
中間包括利益	4,196	6,249
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,196	6,249

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,759	10,204
減価償却費	1,985	2,107
事業構造改革費用	－	294
和解金	292	－
のれん償却額	507	555
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△45	6
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△119	0
受取利息及び受取配当金	△219	△111
支払利息	202	230
為替差損益（△は益）	△170	39
持分法による投資損益（△は益）	△77	△71
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△10	△9
デリバティブ損益（△は益）	65	－
固定資産売却損益（△は益）	△19	△4,187
固定資産廃棄損	0	2
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△300	△646
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,331	△1,078
契約負債の増減額（△は減少）	50	14
未収入金の増減額（△は増加）	△25	△17
仕入債務の増減額（△は減少）	779	1,208
未払金の増減額（△は減少）	△635	△226
未払費用の増減額（△は減少）	△537	908
未払又は未収消費税等の増減額	△174	8
預り金の増減額（△は減少）	△86	△12
その他	558	67
小計	3,447	9,286
利息及び配当金の受取額	208	166
利息の支払額	△201	△231
法人税等の支払額	△1,165	△1,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,288	7,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△12
定期預金の払戻による収入	－	12
有形固定資産の取得による支出	△1,246	△2,054
有形固定資産の売却による収入	14	4,874
無形固定資産の取得による支出	△723	△188
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
長期貸付金の回収による収入	－	0
その他	17	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,959	2,628

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,000	19,800
短期借入金の返済による支出	△4,353	△19,800
長期借入れによる収入	739	25
長期借入金の返済による支出	△2,033	△6,702
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,912	△1,913
リース債務の返済による支出	△326	△295
その他	83	384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,802	△8,501
現金及び現金同等物に係る換算差額	△448	△56
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,920	1,352
現金及び現金同等物の期首残高	19,194	18,142
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,274	19,494

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年4月1日　至　2025年9月30日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結財務諸表計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	12,520	7,192	7,206	7,191	34,111	－	34,111
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	12,520	7,192	7,206	7,191	34,111	－	34,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,545	247	1,234	3,632	9,658	△9,658	－
計	17,065	7,439	8,440	10,824	43,769	△9,658	34,111
セグメント利益又は損失(△)	826	445	△406	1,581	2,446	164	2,611

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額164百万円は、セグメント間取引消去であります。
2.セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3.主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年4月1日　至　2026年9月30日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結財務諸表計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,286	8,457	8,960	10,565	43,269	－	43,269
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	15,286	8,457	8,960	10,565	43,269	－	43,269
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,715	321	1,701	4,090	11,829	△11,829	－
計	21,002	8,778	10,662	14,655	55,099	△11,829	43,269
セグメント利益又は損失(△)	2,147	1,084	△29	2,660	5,862	338	6,200

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額338百万円は、セグメント間取引消去であります。
2.セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3.主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

３．補足情報

（１）連結業績概要

①中間連結会計期間

（単位:百万円、%）

	2026年3月期				2027年3月期			
	中間期	前年同期比	通期	前年比	中間期	前年同期比	通期予想値	前年比
売上高	34,111	103.1	72,967	108.3	43,269	126.8	85,000	116.5
営業利益	2,611	168.4	6,118	167.5	6,200	237.4	9,400	153.6
経常利益	2,909	198.8	6,569	188.9	6,177	212.3	8,950	136.2
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,755	137.0	3,873	217.7	7,251	413.1	8,600	222.0

②四半期別推移

（単位:百万円）

	2026年3月期				2027年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	15,736	18,374	18,906	19,950	21,405	21,863	－	－
営業利益	324	2,286	1,769	1,738	2,458	3,742	－	－
経常利益	627	2,282	2,003	1,656	2,530	3,647	－	－
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	465	1,290	1,130	987	4,754	2,497	－	－

（２）製品別売上高

①中間連結会計期間

（単位:百万円、%）

	2026年3月期				2027年3月期			
	中間期	前年同期比	通期	前年比	中間期	前年同期比	通期予想値	前年比
HMI事業	16,077	98.2	34,085	107.0	20,262	126.0	41,000	120.3
インダストリアルコンポーネンツ事業	6,281	114.5	13,005	115.2	8,095	128.9	14,700	113.0
オートメーション&センシング事業	3,442	82.5	8,193	94.1	4,217	122.5	9,000	109.8
安全・防爆事業	6,047	116.2	12,665	114.7	8,609	142.3	15,200	120.0
システム	2,261	147.4	5,016	144.2	2,084	92.2	5,100	101.7
合計	34,111	103.1	72,967	108.3	43,269	126.8	85,000	116.5

②四半期別推移

(単位:百万円)

	2026年3月期				2027年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
HMI事業	7,554	8,522	8,597	9,410	10,322	9,939	－	－
インダストリアル コンポーネンツ事業	2,905	3,376	3,175	3,548	4,000	4,094	－	－
オートメーション& センシング事業	1,504	1,937	2,266	2,484	2,087	2,130	－	－
安全・防爆事業	2,742	3,305	3,276	3,341	4,022	4,587	－	－
システム	1,029	1,232	1,589	1,165	972	1,112	－	－
合計	15,736	18,374	18,906	19,950	21,405	21,863	－	－

（３）仕向地別売上高

①中間連結会計期間

(単位:百万円、%)

	2026年3月期				2027年3月期			
	中間期	前年同期比	通期	前年比	中間期	前年同期比	通期予想値	前年比
国内売上高	11,471	103.0	24,500	100.9	14,211	123.9	30,100	122.9
海外売上高								
米州	7,311	103.0	15,944	110.8	8,586	117.4	－	－
EMEA	7,127	94.2	15,657	107.9	8,709	122.2	－	－
アジア・パシフィック	8,200	112.6	16,865	118.9	11,761	143.4	－	－
海外売上高　計	22,639	103.1	48,466	112.5	29,057	128.4	54,900	113.3
合計	34,111	103.1	72,967	108.3	43,269	126.8	85,000	116.5

②四半期別推移

(単位:百万円)

	2026年3月期				2027年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
国内売上高	5,444	6,026	6,469	6,560	6,749	7,461	－	－
海外売上高								
米州	3,055	4,256	4,394	4,237	4,257	4,329	－	－
EMEA	3,400	3,726	3,926	4,603	4,657	4,052	－	－
アジア・パシフィック	3,835	4,365	4,115	4,548	5,740	6,020	－	－
海外売上高　計	10,291	12,348	12,436	13,390	14,656	14,401	－	－
合計	15,736	18,374	18,906	19,950	21,405	21,863	－	－

（4）受注実績

(単位:百万円、%)

	2026年3月期中間期				2027年3月期中間期			
	受注高	前年同期比	受注残高	前年比	受注高	前年同期比	受注残高	前年比
日本	13,417	102.4	6,168	91.3	20,437	152.3	11,756	190.6
米州	7,510	110.9	2,929	112.2	9,646	128.4	4,581	156.4
EMEA	6,756	93.9	7,072	96.0	10,483	155.2	9,337	132.0
アジア・パシフィック	5,429	101.2	2,591	100.2	11,968	220.4	6,967	268.8
合計	33,114	102.1	18,762	97.1	52,536	158.6	32,642	174.0

（5）キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2026年3月期				2027年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,795	493	1,567	3,585	3,428	3,853	－	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△857	△1,101	△1,503	△1,834	3,671	△1,043	－	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,072	△1,730	51	1,059	△4,839	△3,662	－	－
現金及び現金同等物期末残高	16,394	14,274	15,069	18,142	20,748	19,494	－	－

（6）設備投資額

(単位:百万円、%)

	2026年3月期				2027年3月期			
	中間期	前年同期比	通期	前年比	中間期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	2,298	116.1	5,937	55.1	2,418	105.2	4,100	69.1

（7）減価償却費

(単位:百万円、%)

	2026年3月期				2027年3月期			
	中間期	前年同期比	通期	前年比	中間期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	1,985	97.5	3,997	97.7	2,107	106.2	4,600	115.1

（8）研究開発費

(単位:百万円、%)

	2026年3月期				2027年3月期			
	中間期	売上比	通期	売上比	中間期	売上比	通期予想値	売上比
連結	1,460	4.3	2,945	4.0	1,720	4.0	3,300	3.9